

平成30年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

平成30年度の事業計画に基づき、かんしょ・にがうり・いちご・かぼちゃ・らっきょう・ラナンキュラス・スイートピー・デルフィニウム・ピーマン台木等の優良種苗の生産・供給に取り組むとともに、ハウス施設を活用した野菜苗等の受託育苗に取り組んだ。

種苗供給実績は、かんしょ・デルフィニウム・ピーマン台木等が前年度実績に比べて増収となり、いちご・らっきょう・にがうり・かぼちゃ・ラナンキュラス・スイートピー等が前年度実績に比べて減収となった。

種苗供給事業の事業収益額は47,498千円となり、前年度実績に比べて1,778千円の減収となり、前年度実績比96%(当初計画比94%)となった。

事業費額は64,992千円で、前年度実績に比べて961千円の減となり、前年度実績比99%(計画比92%)となった。本年度の修繕費、賃金等が増加したが、委託費、燃料費等が減少したことにより、本年度事業費は前年度実績に比べて減少した。

その結果、事業収益、受取会費、受取委託料・補助金等を合計した経常収益額は73,687千円となり、事業費、管理費を合計した経常費用額72,692千円を差し引いた経常増減額は995千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第56回定時総会を平成30年6月に、第1回臨時総会を平成31年3月に開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

| 総会 | 開催日 | 場所 | 議案事項 |
|----------|----------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 第56回定時総会 | 平成30年 6月27日 | J Aビル 501研修室 | 1. 平成29年度事業実績及び収支決算等の承認について 監査報告 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表-1) 3. 規程の改正(案)について |
| 第1回臨時総会 | 平成31年 3月27日 | J Aビル 501研修室 | 1. 平成31年度会費及び納入方法(案)について 2. 規程の改正(案)について |

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

| 理事会 | 開催日 | 場 所 | 議 案 事 項 |
|------------|----------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 理事会 | 平成30年 6月11日 | J Aビル 503研修室 | 1. 平成29年度事業実績及び収支決算等の承認について 監査報告 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表-1) 3. 規程の改正(案)について 4. 種苗供給価格の制定(案)について 5. 第56回定時総会の開催(案)について |
| 第2回 理事会 | 平成30年 6月27日 | J Aビル 501研修室 | 1. 役付理事の選定(案)について(別表-2) |
| 第3回 理事会 | 平成31年 3月5日 | J Aビル 501研修室 | 1. 平成30年度収支予算の補正(案)について 2. 平成31年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成31年度会費及び納入方法(案)について 4. 規程の改正(案)について 5. 平成30年度第1回臨時総会の開催(案)について |

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

| 委員会 | 開催日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|----------------|----------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回企画 運営委員会 | 平成30年 5月16日 | 総合農試 第2会議室 | 1. 平成29年度事業報告、貸借対照表等について 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について 3. 規程の改正(案)について 4. 種苗供給価格の制定(案)について |
| 第2回企画 運営委員会 | 平成31年 2月13日 | 総合農試 第2会議室 | 1. 平成30年度収支予算の補正(案)について 2. 平成31年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成31年度会費及び納入方法(案)について |

4) 優良種苗生産供給部門別会議

優良種苗生産供給事業を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、花き部門・野菜部門(かんしょ部門含む)・病害虫部門の担当者会議を開催した。

[部門別会議の開催]

| 部 門 | 開催期日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|------|----------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 花き部門 | 平成30年 7月11日 | バイテクセンター 会議室 | 1. 花き優良種苗の予約・供給状況について 2. スイートピー、デルフィニウムの育種・採種について 3. ラナンキュラスの「かぎ芽」による大苗生産等について |
| | 平成31年 1月8日 | バイテクセンター 会議室 | 1. 花き優良種苗の予約・供給状況について 2. ラナンキュラスの種苗生産、球根培養について 3. スイートピー・デルフィニウムの育種、交配・採種について |

| 部 門 | 開催期日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 野菜部門 (かんしょ 含む) | 平成30年 7月11日 | バイテクセンター 会議室 | 1. ピーマン台木の供給、採種計画及び育種について 2. にがうり種子の供給及び育種状況について 3. いちご苗の供給及び育種状況について 4. カラーピーマン新品種の育成状況及び試験採種について |
| | 平成31年 1月24日 | バイテクセンター 会議室 | 1. かんしょ苗の生産供給実績及び計画について 2. かんしょ品種・系統の選定・選抜試験について 3. らっきょうの種球供給及び系統選抜について |
| 病害虫部門 | 平成30年 4月25日 | バイテクセンター 会議室 | 1. いちごの病害虫対策と炭疽病・萎黄病検定について 2. かんしょの病害虫防除対策について 3. らっきょうの病害虫対策について 4. スイートピーの病害虫対策について |
| | 平成30年 12月20日 | バイテクセンター 会議室 | 1. かんしょの病害虫防除対策について 2. いちごの病害虫防除対策について 3. らっきょうの病害虫防除対策について 4. 花き類(デルフィニウム等)の病害虫防除対策について |

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

| 監査名 | 期 日 | 備 考 |
|------|-------------|--------------|
| 棚卸監査 | 平成31年 3月30日 | 平成30年度期末棚卸監査 |
| 帳簿監査 | 平成31年 4月18日 | 平成30年度期末帳簿監査 |

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

①かぼちゃ

黒皮かぼちゃの「宮崎早生1号」等を供給した。近年は供給が減少しており、供給実績額は632千円、前年度実績比81%（計画比94%）となった。

②にがうり

「佐土原3号」、「みやざきつやみどり」等を供給した。供給実績は5,586千円、前年度実績比88%（計画比86%）となった。

③ピーマン台木

青枯病・疫病抵抗性に優れる「みやざき台木5号」、青枯病抵抗性に優れる「みやざき台木3号」等を供給した。供給実績額は3,672千円、前年度実績比121%（計画比129%）と増収した。

④スイートピー

複色系品種の「紅式部」、巻ひげの無い品種の「ムジカローズ」・「ムジカスターレット」等を供給した。自家採種の増加等により、供給実績額262千円、前年度実績比44%（計画比52%）と減収した。

⑤デルフィニウム

近年、供給が減少していたが、供給実績額は1,179千円となり、前年度実績比117%（計画比117%）と増収した。

(2) 栄養繁殖作物の無病種苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ランシユラスの無病種苗を生産供給した。

①かんしょ

「宮崎紅」、「コガネセンガン」、「ベにはるか」等の種苗を供給し、供給実績額は25,189千円となり、前年度実績比109%（計画比106%）と増収した。

「宮崎紅」は供給実績額8,871千円、前年度実績比111%、「コガネセンガン」は14,027千円、105%、「ベにはるか」は1,354千円、205%となった。

②いちご

「さがほのか」等の種苗を供給した。供給実績額3,066千円、前年度実績比90%（計画比92%）となった。

③らっきょう

「らくだ」の種球を供給した。供給実績額1,285千円、前年度実績比76%（計画比68%）となった。

④ランシユラス

県オリジナル品種の「ラズベリル」、「サンシユラス・ホワイト」等の培養種苗を供給した。自家採種の増加等により、供給実績額321千円となり、前年度実績比16%（計画比14%）と大幅に減収した。

(3) 優良種苗供給体制整備事業

優良種苗の安定生産供給技術の確立に向けた試験・実証等を行った。

① 原料及び加工かんしょの種苗安定生産供給技術の確立

- ・焼酎原料用「タマアカネ」の新系統選抜試験を畑作園芸支場で実施し、系統「NO4」を有望系統として選定し、今後生産・供給を予定している。
- ・食用・加工用「宮崎紅」の系統選抜試験を畑作園芸支場で実施した。供試した3系統（A-3、T-15、O-61）の収量は10a当たり3.8、4.2、3.5トンとなっており、今後も継続して、新系統の収量性を調査・検討する。

② らっきょうの優良系統選抜・比較試験と種球洗浄消毒による病害虫対策の検討

- ・県内各産地の系統（6系統）を供試し、らっきょうの新系統選抜試験を実施し、平成29年作付の収量調査及び平成30年10月作付の生育調査を行った。今後も継続して試験を実施する。
- ・収穫後及び定植前のベンレート水和剤等による種球消毒の効果確認をウイルスフリー種球を供試し、センター等で実施し、現時点で病害虫の発生はなく、生育は順調である。

③ カラーピーマン有望系統の採種技術の確立

- ・採種効率の向上技術として、仕立て本数（2本、4本）を7月定植・9月～11月交配の作型で比較検討し、4本仕立ての採種量が多かった。今後は交配時期の検討を行う。
- ・有望系統（3系統）の採種量や発芽能力等について、7月定植・9月～11月交配の作型で検討し、17-48（赤）のA品率、発芽率が高かった。今後も継続して比較検討を行う。

④ ランシユラスウイルスフリー球根の安定生産技術の確立

- ・かぎ芽増殖による種苗生産技術の確立として、芽の基部の切口からの病原菌等の侵入対策では、アグロケア（バチルス菌）塗布の成苗率が高かった。
- ・かぎ芽種苗と培養セル種苗での球根養成状況について、3品種を供試し比較した結果、全てかぎ芽種苗で球根重が高かった。

⑤ スイートピー「紅式部」の採種技術の確立

・採種率の向上として、年内から年明け交配・採種と種子2回採りの可能性を検討し、11月下旬から交配を開始した場合、2月中旬より採種が始まり、3月がピークで、6月までの採種が可能であることがわかった。

・平成29年度に選抜した個体を供試し、採種効率、特性を調査するとともに、結実の容易な個体の選抜を試みる。

⑥ りんどうメリクロン苗の安定生産技術の確立

・効率の良い培養苗増殖方法の検討として、増殖数及び生育状況等を調査した。今後とも供試個体数を増やし、増殖効率の良い培地を検討する。

・発根に適した培地と培養苗の順化方法の検討として、無菌培養苗を供試し、異なる培地組成での発根状況を確認するとともに、培養苗の順化鉢上げ用土の比較試験を行う。

⑦ 優良系統・品種の親株保存管理

県育成品種で、現在普及中の品種・系統及び遺伝資源として利用の可能性のある品種・系統を将来の活用に備え、保存・管理しており、野菜2品目4品種、いも類1品目10品種、花き4品目25品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

| 作目 | 品目 | 品種 | 導入先 | 導入年 | 保存形態 | |
|-----|---------|-------------|-------|-------|--------|--------|
| 野菜 | いちご | とよのか | 宮崎市 | 平成5年 | 75x30苗 | |
| | | みやぎきなつはるか | 県総合農試 | 平成25年 | 75x30苗 | |
| | | こいはるか | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| | らっきょう | らくだ | 県総合農試 | 平成2年 | 75x30苗 | |
| | | らくだ | 都城市 | 平成5年 | 75x30苗 | |
| いも類 | かんしょ | 宮崎紅 | 串間市 | 平成7年 | 75x30苗 | |
| | | 宮崎紅A-3 | 県総合農試 | 平成18年 | 75x30苗 | |
| | | 宮崎紅O-61 | 県総合農試 | 平成24年 | 75x30苗 | |
| | | ことぶき | 宮崎市 | 平成8年 | 75x30苗 | |
| | | コガネセンガン | 県総合農試 | 平成24年 | 75x30苗 | |
| | | アヤムラサキ | 県総合農試 | 平成24年 | 75x30苗 | |
| | | べにはるか | 県総合農試 | 平成24年 | 75x30苗 | |
| | | ジョイホワイト | 県総合農試 | 平成24年 | 75x30苗 | |
| | | ムラサキマサリ | 県総合農試 | 平成25年 | 75x30苗 | |
| | | コガネマサリ | 県総合農試 | 平成26年 | 75x30苗 | |
| | | タマアカネ | 県総合農試 | 平成27年 | 75x30苗 | |
| | | T-15 | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| 花き | デルフィニウム | GN89(シラス親) | 県総合農試 | 平成18年 | 75x30苗 | |
| | | LP93(レグルス親) | 県総合農試 | 平成18年 | 75x30苗 | |
| | サンキョウ | ガーネット | 県総合農試 | 平成18年 | 75x30苗 | |
| | | ラズベリル | 県総合農試 | 平成20年 | 75x30苗 | |
| | | ローズクオーツ | 県総合農試 | 平成21年 | 75x30苗 | |
| | | サンキョウ3品種 | 県総合農試 | 平成22年 | 75x30苗 | |
| | | マリム等4品種 | 綾町 | 平成27年 | 75x30苗 | |
| | | ビュレ等5品種 | 綾町 | 平成28年 | 75x30苗 | |
| | | サンキョウ・マリ・ピノ | 県総合農試 | 平成28年 | 75x30苗 | |
| | | サンキョウ・レット | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| | | キティラ | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| | | ディーニュ | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| | | ポムロール | 県総合農試 | 平成29年 | 75x30苗 | |
| | | スプレーカーネーション | 0-0 | 綾町 | 平成19年 | 鉢苗(親株) |
| | | | 0-レット | 県総合農試 | 平成19年 | 鉢苗(親株) |
| | 0-ピノ | | 県総合農試 | 平成19年 | 鉢苗(親株) | |

2) 野菜苗の受託育苗

ハウス施設の有効活用等を図るため、8月～10月に野菜苗（ピーマン、なす、きゅうり）育苗をジェイエイ・アグリシード(株)から受託して行った。野菜苗等の受託育苗の受託収入は、6,278千円となり、前年度実績比88%（計画比85%）となった。

[野菜苗の受託育苗]

| 品 目 | 数 量 |
|---------------|----------|
| なす苗 (佐土原なす含む) | 26,310本 |
| きゅうり苗 | 47,427本 |
| ピーマン苗 | 43,894本 |
| 合 計 | 117,631本 |

(別表－1)

任期満了に伴う役員改選において交代する役員

1. 理事

| 現職 | | 改選 | |
|-------|------------|-------|-----------|
| 氏 名 | 役職名 | 氏 名 | 役職名 |
| 大坪 篤史 | 前宮崎県農政水産部長 | 中田 哲朗 | 宮崎県農政水産部長 |

任期：平成30年6月定時総会から平成32年6月定時総会まで

2. 監事

| 現職 | | 改選 | |
|------|----------|--------|---------|
| 氏 名 | 役職名 | 氏 名 | 役職名 |
| 岡山秀昭 | 前宮崎市農政部長 | 壹岐 富美雄 | 宮崎市農政部長 |

任期：平成30年6月定時総会から平成32年6月定時総会まで

(別表－2)

役付理事の選定における新任役員

| 役 職 | 理 事 | |
|-------|-------|-----------|
| | 氏 名 | 勤務先役職名 |
| 副会長理事 | 中田 哲朗 | 宮崎県農政水産部長 |